



(左から)
NAOKI (高橋 直樹)さん
CHANMY (こまき みか)さん
GIN-G (村上 銀士)さん
It's RICE (菅澤 多加男)さん
[プロデューサー兼マネージャー]

このコーナーでは、多古町や町民の皆さんと関わる「関係人口」(*)に注目し、町外にお住みの方で多古町と“縁”ができた方をご紹介します。(※)【関係人口】地域や地域の人々と多様に関わる人々のこと

現在、多古町を中心に活動している音楽グループ「SILVER STARS」。今年の3月に結成され、福祉施設での活動や香取市小見川地区でのイベントなど、コロナ禍であるからこそ、皆さんに音楽を届け、元気づけようと活動しています。今回は、作った曲に対する想い、地域への想いを伺ってきました。

— 『多古米賛歌』に込めた想い

多古米賛歌は『one time』『Song for』に続く、3曲目になります。この曲は、コロナ禍の今、聴いた方に元気になってほしいという気持ちを込めて、初めて4人が共同で作りました。そして、この曲を多古町の応援歌にしたいという想いもあります。曲中の、「フレーフレー」という言葉は、運動会だとエールを送るときに使っていますが、NAOKI、CHANMY、GIN-Gの3人が歌ってくると、聴いてくれている人たちとお互いにエールの交換をしている感じで、すごく元気になれると思います。

いろいろな想いを込めた、参加型の曲となっています。ぜひ一度お聴きください。

— 地域への想い

違う地域に住んでいて、違う業種、進む道も違っていました。一緒に活動することになり、今しかできないことを見つけ、今が大事なことになり4人が気付きました。この想いを大事に、地域を盛り上げていきたいと思っています。

岸本 桂さん【喜多(井野)区】
美智子さん
龍磨さん



TAKO Needs You

多古町に移住された皆さんに
お話を伺います!



子どもがゴルフをプレーして、その環境を整えたいという思いもあり、今年3月に多古町に移住してきました。以前に「奇跡のレッスン」というテレビ番組で多古町を知り、それが移住のきっかけとなりました。何度か町で開催した移住セミナーに参加したことで、どういったところなのかを事前に知ることができ、家族で昨年の夏に実際に訪れて町の様子も見ました。子どもがその時に「良きそうだね」と言ってくれたことで移住を決断できました。いろいろと相談にも乗っていただき、とてもありがたかったです。ただ、地域になじめるか、



移住する前は不安な部分もあつたんですが、地域の皆さんが優しく、「何か困ったことがあつたら声をかけてね」と言ってくださって、それが心強くて、安心して生活できています。

子どもも中学校ではゴルフ部に入部し、先生方、卒業した先輩たちや地域の皆さんの支えもあって、練習に励むことができている。そして、友だちとゴルフの練習に行ったりと楽しそうにしているのを見ると、移住して良かったなど本当に思います。

移住は大きな決断でしたが、都会の喧騒の中で子育てが大変だと感じている方には、この自然の中で伸び伸びと子どもを育てることができ、そしてサポートも手厚い多古町をぜひ紹介したいですね。

町の出来事や頑張っている皆さんを紹介するアラカルトコーナー。このコーナーでは、皆さんからの情報をお待ちしています。〒289-2292 多古町地方創生課広報係 ☎76-5417



想 いがこもった手作りしおり

ふっくらたまこのファンの方から手作りのしおりが届きました。一つひとつのしおりにたまこのイラストが入っており、色とりどりの種類がありました。このしおりは町立図書館で配布し、訪れた子どもたちはしおりを手に取ると、うれしそうな表情を浮かべていました。 ※しおりの配布は終了しました。



優 しさが詰まったうんてい

6月15日、こども園のうんていに補助用のロープが設置されました。「うんていができない子どもを補助したい」という想いに、消防署員の方々が応えてくれました。うんていで遊ぶ子どもたちは普段とは違う、うんていのように楽しそうな表情を浮かべていました。消防署員の方からは「ロープを張ることで子どもたちにうんていの楽しさを感じてもらえればうれしい」と、温かいコメントをいただきました。



アップルジュースで元気よ届け



ANA 成田空港支店からコロナ禍で、外出を控えている子どもたちに元気を届けようと、こども園と各小中学校・児童保育所に合計546パック(1パック=1ℓ)のアップルジュースが贈られました。心温まるプレゼントに「おいしいね」と笑い合う子どもたちの笑顔が印象的でした。友達と一緒に飲んだアップルジュースは、より一層おいしく感じられたことでしょう。



こども園(いもの植付作業後)



中村小学校